

音楽科の学習評価について

1 観点別学習状況の評価について

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し記入する。
その際、

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの

のように区別して評価を記入する。

2 評定について

各教科の評定は、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を、

- 5：「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
- 4：「十分満足できる」状況と判断されるもの
- 3：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- 2：「努力を要する」状況と判断されるもの
- 1：「一層努力を要する」状況と判断されるもの

のように区別して評価を記入する。

3 観点別学習状況の評価の各観点

(1)「知識・技能」の評価について

「知識・技能」の評価は、音楽科における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価するものである。

(2)「思考・判断・表現」の評価について

「思考・判断・表現」の評価は、音楽科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価するものである。

(3)「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

「主体的に学習に取り組む態度」の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価することではなく、音楽科の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価するものである。

4 評定の出し方

観点別学習状況の評価	点数合計	評 定
A A A	9	5
A A B	8	4
A B B	7	4
A B C	6	3
B B B	6	3
B B C	5	3
A C C	5	3
B C C	4	2
C C C	3	1

A = 3点 B = 2点 C = 1点 とする。